

新可燃ごみ処理施設連絡会との意見交換会だより

発行：日野市クリーンセンター ☎ 042-581-0444 FAX 042-586-6606

「新可燃ごみ処理施設に係る新井自治会の皆さまとの意見交換会」(第4回)を開催しました

クリーンセンターでは、可燃ごみ処理施設のあり方について、地元の皆さまと話し合いを進めています。5月24日に新井自治会「新可燃ごみ処理施設連絡会」の方々と「意見交換会」(第4回)を開催しました。地域の皆さまにその概要をお伝えします。

●日野市から以下のことをお伝えしました

- ①新石自治会地域・落川地域の近況
- ②新可燃ごみ処理施設の施設規模
- ③稼働後、概ね30年後の次期施設の設置場所について

●新石自治会地区に3市長が挨拶に伺いました

新石自治会では、ごみ処理の広域化について反対運動を行っていましたが、自治会としての反対運動を終結する決議が3月29日の自治会総会でなされました。そして、5月10日に日野市・国分寺市・小金井市の3市長が新石自治会主催の組長会で、反対運動が終結されたことについて、お礼を述べました。

●新可燃ごみ処理施設の施設規模

地元との意見交換会で要望されていたことを市内部でしっかりと検討し、①新施設の規模を現行の施設の220t/日に近づける②煙突の高さを85m以上にする③新施設の稼働に合わせてマテリアルリサイクルを実施する、ことを平成26年12月に日野市の方針としました。そして、将来のごみ量を精査した中で、

- ①新施設の規模を228t/日にする
- ②煙突の高さを85mにする(施設の建屋を34m以下にして、ダウンドラフト現象を回避する)
- ③新施設の稼働にあわせてマテリアルリサイクルを実施する

ことを計画しています。

●稼働後、概ね30年後の次期施設設置場所

日野市 国分寺市 小金井市の3市で締結した覚書には、「新施設の稼働期間は概ね30年とする。引き続き構成団体で施設整備及び運営する場合には、次期、新施設の設置場所は日野市の区域外を基本とする。」と記されています。このことを履行するため早い段階から3市でしっかりと協議していきます。

●「新可燃ごみ処理施設連絡会」との意見交換

新可燃ごみ処理施設連絡会の方々から、30年後に可燃ごみ処理施設をなくす道筋、排ガス測定等モニタリングスポット設置、今後のごみ減量の進め方等について意見が寄せられました。質疑の概要は「議事概要」としてまとめ、自治会内で回覧していただく予定です。

●基本設計書などは日野市ホームページでご覧になれます

「ごみ処理施設建設基本設計書」、「新井地区意見交換会だより」、「クリーンセンターだより」などごみ処理広域化に関する情報は、日野市ホームページ(<http://www.city.hino.lg.jp/>)からご覧になれます。

ホーム > くらしの情報 > ごみ・リサイクル > ごみ処理の広域化